

Kansai University Psychological Research

関西大学心理学研究

関西大学心理学研究

第3号 2012年3月

Kazuaki SHIMIZU (*Faculty of Sociology, Kansai University*)

Methodology of Extension Factor Analysis:

Using the factor structure defined as the correlations between variables and factors
..... 1

Rikuko SEKIGUCHI (*Faculty of Sociology, Kansai University*)

Relationship between subjective properties associated with remembering
autobiographical episodic memories, and emotion: Investigation by the subjective
properties questionnaire of autobiographical memory. 15

Takuro TOMITA (*Faculty of Sociology, Kansai University*)

The current issue on career development and adolescent mental health in Japan
..... 27

清水和秋

延長因子分析の方法論

—変数と因子との相関係数として定義される因子構造を用いて— 1

関口理久子

自伝的エピソード記憶想起に伴う主観的特性と感情の関係について

—自伝的記憶の主観的特性質問紙を用いた検討— 15

富田拓郎

大学生のキャリア発達とメンタルヘルスに関する近年の課題

..... 27

第3号

関西大学大学院
心理学研究科

編集委員会

雨宮俊彦* 比留間太白 池内裕美 (*編集委員長)

編集規程

1. 本誌は、関西大学心理学研究科の機関誌として、年1回発行する。
2. 本誌の編集は、関西大学心理学研究科内にある編集委員会の責任のもとに行われる。
3. 本誌は、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員ならびに教員と連名の研究者の論文の掲載にあてる。ただし、第一著者となれるのは、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員、大学院生、および研究生に限る。
4. 論文は未公開のものに限る。ただし、学会や研究会等での発表（口頭、ポスター、講演等）は除く。
5. 論文は、編集委員によって審査され、その掲載の可否が決定される。
6. 論文の原稿の長さは、表題、要約、図表・注・文献を含め、原則として、日本語論文は刷り上がり10ページ以内、英語論文は6500語以内とする。
7. 論文の構成および表記は、日本心理学会編「執筆・投稿の手びき2005年改訂版」に準拠したものとする。
8. 論文の印刷に関し、特に費用を要するものは執筆者の負担とする。
9. 執筆者（第一著者）に対しては、抜刷20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
10. 本誌に掲載された論文の著作権は関西大学心理学研究科に帰属する。ただし、内容についての責任は著者が負う。